

【正誤表】

ジョゼフ・ラズ／松尾弘 訳『法体系の概念 [第2版] —法体系論序説—』（解説追補版）

本書に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

該当頁	訂正前	訂正後
127 頁 (下から5～6行目)	ケルゼンによれば、法体系の存続は最初の主権者の継続的存在に依存する。そして、最初の主権者の継続的存在は、その法体系に属するあらゆる法の有効性の根拠を最初の憲法にまで遡ることができる可能性に依存する。	ケルゼンによれば、法体系の存続は、最初の主権者の継続的存在に依存するのではなく、〔その法体系に属する〕あらゆる法の有効性の根拠を最初の憲法にまで遡ることができる可能性に依存する。